

作物別に「求人暦」作成

年間通じて労力確保

JAグループ
山形など

JAグループ山形と山形県農業労働力確保対策実施協議会は、求人用のリーフレットと全国求人ウェブサイトに2019年度から新たに「作物別求人カレンダー」を盛り込んだ。サクランボなど二つの作物だけでは就労期間が短く、人が集まりにくい。そこで求職者

が複数の作物で一定期間働けるよう、年間の各作物の具体的な作業や求人時期を一覧で示した。同県では、1月の加温サクランボや啓翁桜から12月の西洋梨「ラ・フランス」の収穫まで、ほぼ年間を通して農作業が続く。しかし、高齢化などで労働力が不足する作物も増え、人手の確保が課題となる中、一つの作物だけでは作業期間

が限られ、求職者から敬遠されがちだ。このため、求人用のリーフレットに「作物別カレンダー」を新たに取り入れ、1万2500部を作成した。JAグループ山形が、昨年3月に開設した全国求人ウェブサイト「おいしい山形で働きませんか」にも、同様のカレンダーを追加した。カレンダーでは内陸地域ではサクランボ、ブドウなどの果樹や水稲、トマトなど12品目、庄内地域では水稲やエタメメ、赤カブなど8品目の求人内容を掲載。それぞれ摘蕾（てきらい）や摘果、定植や剪定（せんてい）、収穫など、具体的な作業や時期を示している。一覧にすることで、例えばサクランボの作業が終わった後もブドウや桃の収穫などに移るなど、一定期間、県内に滞在しながら働けるとのメッセージを求職者側に伝えられる。全国求人ウェブサイト「おいしい山形で働きませんか」では、作物をクリックすると求人情報が一覧で表示される。（山形）



「作物別カレンダー」を盛り込んだ求人用のリーフレット（13日、山形市で）